



り ょ う

菱 旭

き ょ く

平成31年度 学校だより 第4号

平成31年4月26日（金）発行

〒988-0238 気仙沼市長磯中原125

気仙沼市立階上中学校



三日坊主

校長 菅原 定志

あつという間に4月も過ぎようとしています。今日4月26日は、『平成最後の授業日』でした。次回の授業日5月7日が『令和最初の授業日』となります。新しい時代の始まりです。

さて、新たな始まりにはいろいろあります。新年が始まる1月1日、年度が始まる4月1日、夏休みの最初の日など。その日は、気分が新たになり、新しいことを始めたり、新たな目標を立てたりします。自分自身も小学校時代からそのような気分にはなっていました。しかし、自分自身「三日坊主」を絵に描いたような性格であり、なかなか目標どおり、予定どおりに進んだことはありませんでした。サザエさんのカツオくんのように、最終日に慌てて、何とかやり過ごしてきた学生時代でした。

教員になり、「仕事」となってからはカツオくんのようにならないように気をつけてきました。一方で、家庭生活は相変わらずでした。成長続ける体を見ては、テレビショッピングで腹筋ベルトを購入したり、腹筋マシンを購入したりとするものの、長く続くことはなく、体には何の変化もなく、それらの商品は部屋の片隅に追いやられていきました。自分の性格はなかなか変わらないものと痛感していました。

昨年4月。本校に赴任して2年目を迎えた暖かな日。校舎前を歩いていたときに、草だらけの花壇を見て、「ここに畑を作ろう」と思いました。新たな目標が生まれた瞬間でした。家から鍬を持ってきて耕し、自腹で苗を買って植えました。さて、畑は三日坊主になったかというと、何と収穫までいきました。その大きな理由は、用務員の大原さんと一緒に畑仕事をしたことでした。「大分大きくなりましたよ」「かわいい花が咲きましたよ」「小さな実がつきましたよ」と毎日のように声をかけていただきました。優しい声がけをしてもらううちに、毎日畑に行くことが日課となりました。立派ではないものの、野菜も収穫することができました。さらには、生徒の力にも助けられました。何も言わないのに水をかけてくれる生徒、畑にいた私に「頑張って」と声をかけてくれた生徒、運動会の狩り人競走のアナウンスで「畑作りが上手な校長先生」と言ってくれたこと。自分一人ではここまでできなかつたと痛感しました。

さて今年も、畑には野菜の苗を植えました。三日坊主にはならないと自分自身を信じています。

「言葉がけ一つでできるようになる」「できるようになると自信になる」「自信になると楽しくなる」。私も、生徒や先生方によい言葉をかけていきたいと思います。



階上中HPで、カラーでご覧いただけます。

～ 安全で楽しいゴールデンウィークをお過ごしください ～

明日から5月6日までお休みに入ります。連休中には、「思い切り部活動を頑張ろう」と意気込んでいる生徒がたくさんいるようです。大会や練習試合での活躍を楽しみにしています。また、平成から令和という時代に変わる大切な節目ともなるこの連休には、ぜひ、ご家庭での時間を大切にしてお過ごしいただきたいと思います。4月中の頑張りの疲れが出たり、寒暖差が激しく、体調を崩しやすい時期であったりしますので、体調管理にも気を付けていただきたいと思います。生徒には連休中も規則正しい生活をおくること、交通事故などに十分に気を付けて過ごすように話しました。連休明けは、いよいよ修学旅行、野外活動、地区中総体が待っています。5月7日は令和初めての登校日です。元気よく登校してほしいと願っています。